

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地										
経専北海道観光専門学校	平成21年6月21日	中田 靖泰	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-3 (電話) 011-837-0200										
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地										
学校法人経専学園	昭和48年4月24日	倉田 恵	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-8 (電話) 011-824-1000										
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士									
商業実務	商業実務専門課程	観光サービス学科(エアライン科)	平成22年文部科学省 告示第152号	-									
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、観光業界に幅広く携わる有能な人材を育成するとともに、ホスピタリティ精神を身につけた国際人を育成することによって、観光業界の発展に寄与することを目的とする。												
認定年月日	平成26年3月31日												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技						
	2年 昼間	1702時間	916時間	時間	786時間	時間	時間						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数								
329	40人	0人	2人	16人	18人								
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期・後期において試験を実施し100点を満点として50点以上をもって合格とする									
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 7月18日～8月20日 ■冬季: 12月18日～1月21日 ■学年末: 3月31日		卒業・進級 条件	学年ごとに修了すべき科目について試験を行い合格者に対して当該科目の終了を認定する。但し、学年ごとの総授業時間数の90%以上を出席していなければならない。									
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 年間2回以上の個別面談を行い、学修状況の確認、就職指導を行っている。		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動: 無									
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 旅行、エアライン各業界		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成31年5月1日時点の情報)									
	■就職指導内容 履歴書の書き方、面接練習、挨拶マナー指導など			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス実用検定国内全般3級</td> <td>③</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	アクセス実用検定国内全般3級	③
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数										
アクセス実用検定国内全般3級	③	18人	18人										
■卒業生数 : 18人 ■就職希望者数 : 17人 ■就職者数 : 16人 ■就職率 : 94.1% ■卒業生に占める就職者の割合 : 88.9% ■その他 : (平成30年度卒業生に関する 2019年5月1日 水曜日 時点の情報)		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等											
中途退学 の現状	■中途退学者 1名 平成30年4月1日時点において、在学者33名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者32名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任体制による定期的個別面談の実施、スクールカウンセラーの配置など		■中退率 2.5%										
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ○ ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0名												
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ○ ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)												
当該学科の ホームページ URL	http://www.keisen-kankou.com/												

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めませんが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等につ

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学教育理念に基づき、早期からの職業理解や目的意識を持たせるためのキャリア形成支援を職業実務の実践性を含めた多様な教育プログラムで実施している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

カリキュラム編成に関して、企業及び業界団体等の意見・助言を活かしたカリキュラムの改善を図り、専修学校教育に必要となる最新の知識・技術を反映するための連携体制を確立するために、教育課程編成委員会を学校長のもとに位置付ける。学校が編成したカリキュラム案を教育課程編成委員会に提案し、教育課程編成委員会は改善のための意見・助言を学校長に報告し、これを学校長が審議し、判断をすることになっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2019年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
上野 文一	一般社団法人 日本ソムリエ協会	2019年3月1日～2021年2月28日(2年)	①
佐々木 博章	(株)日本旅行	2019年3月1日～2021年2月28日(2年)	③
高澤 秀司	一般社団法人 日本旅行業協会	2019年3月1日～2021年2月28日(2年)	①
藤川 美樹	(株)TEI	2019年3月1日～2021年2月28日(2年)	③
香川 朗	経専北海道観光専門学校		
稲場 啓剛	経専北海道観光専門学校		
宝賀 知之	経専北海道観光専門学校		
藤崎 真希子	経専北海道観光専門学校		
岩川 香穂子	経専北海道観光専門学校		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回

(開催日時)

平成29年3月21日 14:00～15:00

平成31年3月6日 16:00～17:00

平成29年10月13日 16:00～17:00

平成30年3月20日 14:00～15:30

平成30年7月11日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員より、英語力を強化すべきとの意見があり、その対策として語学授業の時間数を増やすことができないか議論した。継続検討し、次年度以降のカリキュラムに反映させる

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学教育理念に基づき、早期からの職業理解や目的意識を持たせるためのキャリア形成支援を職業実務の実践性を含めた多様な教育プログラムで実施している。また、業界の動向やその職業に従事するにあたって必要な知識、技能、能力や態度について実感をもって理解させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

旅行会社・航空会社を目指す者にとっては、必要不可欠な日本航空予約・発券システムの基本的な知識・操作を学び、国内線・国際線の資格取得を目指す。評価については、定期試験、出席率、平常点(小テスト、提出物、授業態度)の総合で判断する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
アクセス	旅行・航空業界で航空座席やホテル等旅行商品を手配する為のコンピュータ予約システムの操作を学ぶ。	(株)アクセス国際ネットワーク

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校教育理念及び教育方針・指針に基づき、教育養成において指導力の向上を図りキャリア教育に関する必要な知識や指導方法を習得させるために「教職員研修」を実施する。

- ・産業団体や協会等が開催する講演会や研修に教員を派遣する。
- ・教育支援活動として協力いただいている企業と連携し、「必要とされる専門知識・技能の習得」等についての意見交換会を実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会の為、業界情報の収集を行う。	プレミアムホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト斡旋・就職斡旋に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウスビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場における指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会の為、業界情報の収集を行う。	プレミアムホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト斡旋・就職斡旋に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウスビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場における指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより、企業等、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委員会を設置して客観的な点検及び評価を行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は定められているか ②学校における職業教育の特色は何か ③理念・目的・育成人材像・特色などが学生・業界関係者・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③人事、給与に関する規定等は整備されているか
(3) 教育活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ②授業評価の実施・評価体制はあるか ③成績評価、進級・卒業判定基準は明確になっているか

(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③進学率の低減が図られているか
(5)学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③保護者と適切に連携しているか
(6)教育環境	①施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は伝えられているか ③学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	①予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ②財務について会計監査が適正に行われているか
(9)法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のために対策がとられているか
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練を含む)の受諾等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	

※(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より、教える側もこちらの常識にとらわれることなく、学生を見て、理解度をはかりながら指導していくことが必要との提案を受け、教育内容の見直し、充実を尚一層図っていくこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年6月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
穂積 尚哉	(株)クレオトラベル	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	企業等委員
中村 正彦	JR北海道ホテルズ(株)	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	卒業生
木田 武	セブンイレブン札幌自衛隊前店	2018年7月1日～2020年6月30日	地域住民
能代 茂	学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学 明清高等学校	2018年7月1日～2020年6月30日	学校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 6月

<http://www.keisen-kankou.com/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を提供することを目的として、企業等の学校関係者に対し、「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則った情報を積極的に提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	「学校所在地、連絡先等」「学校教育目標」
(2)各学科等の教育	「入学定員」「カリキュラム」「卒業後の進路」「目指す資格」
(3)教職員	「教員数」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	「就職支援等への取り組み状況」
(5)様々な教育活動・教育環境	「学校行事への取り組み状況」
(6)学生の生活支援	「学生・生活指導への取り組み状況」
(7)学生納付金・修学支援	「入学者選抜の方針・方法」「学生納付金の取り扱い」
(8)学校の財務	「財務諸表等」
(9)学校評価	「学校関係者評価の結果」
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

・入学案内 ・ホームページ <http://www.keisen-kankou.com/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 観光サービス学科 エアライン科) 2019年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任	
○				パソコン	パソコン操作は現代社会で必要不可欠である為、ワード・エクセル操作を学び、パソコン検定取得を目指す	2後	66		○	○	○					○
○				航空業界知識	航空業界の知識を正しく理解して、航空業界での仕事を円滑に行う為に必要な科目	1前	22		○			○				○
○				面接試験対策	就職試験において必須となる面接試験の為に模擬面接等の実技を中心にロールプレイを行う	1後 2前	42				○	○				○
○				国際線基礎知識	グランドスタッフとして、国際線を利用する旅客を取り扱う上での基礎知識を身に付ける	2通	22		○			○				○
○				国際線航空約款・運賃	航空業界で国際線業務を行う上で、必要となる国際航空約款と国際航空運賃を学ぶ	2通	22		○			○				○
○				国内線航空約款・運賃	航空業界で国内線業務を行う上で、必要となる国内航空約款と国内航空運賃を学ぶ	1通 2前	43		○			○				○
○				パブリックスピーチ／アナウンス基礎	就職試験及び就職した先での接客で必要不可欠な正しい敬語や人前での話し方を習得する	1前 2前	33		△			○	○			○
○				身だしなみ・センスアップ講座	航空業界で活躍していく上で必要なセンスとしてパーソナルカラー、ネイル、ヘアメイクの技術を磨き、イメージアップを図る	2後	22					○	○			○
○				観光マスター検定／海外地理	業界就職する際に有利とされる北海道観光マスター検定の取得を目指す	1通 2前	64		○			○				○
○				海外旅行実務	海外旅行を行う上で行われる出入国の手続きや流れ、査証条件などを学ぶ	1通	42		○			○				○
○				マナープロトコール	マナー・プロトコール検定3級の資格取得を目的とする	1前	44		○			○				○
○				アクセス	航空会社の予約システムを理解し、1年次に国内線3級、2年次には国際線3級の検定取得を目指す	1通 2前	64					○	○			○ ○
○				筆記試験対策	就職試験で実施される筆記試験の対策として一般教養を学ぶ	1通	42		○			○				○
○				国内観光地理・知識・実務	航空業界で働く上で必要不可欠である国内外の観光地理を周辺の航空アクセスと共に学ぶ	1通 2通	54		○			○				○
○				卒業研究（旅行企画）	航空業界のサービスを深く調べることで業界知識をより深め、2年間の授業の総まとめをする	2後	88		△			○	○			○
○				英語検定対策	航空業界就職において必須となる実用英語検定2級取得を目指す	1通 2通	130		○			○				○
○				冬季検定対策	2月実施の実用英語検定の取得に向けた検定対策と就職に向けた業界知識やサービスについて学ぶ	2後	96		○			○	○			○ ○
○				エアライン英会話	航空業界で必須となる英会話を学び、外国人旅行者の接客する為の知識を養う	1通 2通	86		○			○				○

○		オンライン英会話	航空業界で必要不可欠な英語を学ぶため、個々にオンラインを通して英語力を身に付ける	1通	63				○	○	○			
○		手話	聴力障がい者に対するの基本的な対応(接客姿勢)を学ぶ	1後	10	△			○	○				○
	○	韓国語/中国語/手話	道内を訪れる韓国人や中国人のお客様への対応に対して接客が出来るよう韓/中語学を習得する/聴力障害者に対するの基本的な対応(接客姿勢)を学ぶ	1後 2前	64	○				○				○
○		エアライン実習(カウンター)	空港で行うサービス対応を学び、スムーズに行う演習を行うことで将来に役立つ知識を習得する	1後 2通	64					○	○			○
○		エアライン実習(機内サービス)	航空機内で行うサービス対応を学び、スムーズに行う演習を行うことで将来に役立つ知識を習得する	1後 2通	44					○	○			○
○		JR時刻表実務	航空機遅延時の代替案として、地上移動手段を提案する為、時刻表の活用方法を学ぶ	1後	10	○					○			○
○		社会人雑学	保険の仕組みや社会ルールを学び、社会人としての自覚を持つ	2前	11	○					○			○
○		心理学	コミュニケーション能力の向上と接客をする上でのクレーム対応	2前	22	○					○			○
○		就職ゼミ	就職に関するルールの説明、就職活動の流れを理解し、就職内定を獲得する為の指導を行う	1後 2通	32	○					○			○
○		HR	必要事項の伝達及びクラス内のコミュニケーションをとる	1通 2通	43	○					○			○
○		オリエンテーション	入学当初及び進級後のモチベーションを継続させる為、学校ルールの説明に加え、観光業界で活躍する卒業生を招き、業界講話を実施する	1前 2前	71	○					○			○
○		JAL/ANA研修旅行	ANAビジネスソリューションのマナー講師から基本接遇を学び、Jプレゼンスアカデミー講師から面接対策を学ぶ	1後	32	△					○			○
○		道内研修旅行	北海道内の観光地を学び、北海道のローカル空港ならではの設備を見学し、業界講話を通じ業界知識を習得する	1前 2前	64	△					○			○
○		クラスレクリエーション	北海道内有数のリゾートホテルでホテルライフを体験し、将来の仕事に活かすとともに、クラス内のコミュニケーションを目的とする	1前	16						○			○
○		ノーマライゼーション・普通救命講習	健常者だけに限らず障害者への対応を理解する。また事故や急病が発生した際の応急処置の技術を身に付ける	1後	18						○	○		○
○		就職試験対策(1月)	直前に迫る就職試験に向けて、筆記及び面接に関する対策授業	1後	110	○					○	○		○
○		9月検定対策	10月実施の実用英語検定、11月実施の北海道観光マスターの取得に向けた検定対策授業	1前	25	○					○	○		○
合計					35科目						1681	単位時間(単位)

卒業要件及び履修方法

授業期間等

前、後期評定「可(50点)」以上、出席率90%以上

1学年の学期区分	2期
1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地															
経専北海道観光専門学校	平成21年6月21日	中田 靖泰	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-3 (電話) 011-837-0200															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地															
学校法人経専学園	昭和48年4月24日	倉田 恵	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-8 (電話) 011-824-1000															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士														
商業実務	商業実務専門課程	観光サービス学科(鉄道科)	平成22年文部科学省 告示第152号	-														
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、観光業界に幅広く携わる有能な人材を育成するとともに、ホスピタリティ精神を身につけた国際人を育成することによって、観光業界の発展に寄与することを目的とする。																	
認定年月日	平成26年3月31日																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験												
2年	昼間	1752時間	1186時間	時間	566時間	時間												
	夜間																	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
329	17人	0人	2人	17人	19人													
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表:.....有 ■成績評価の基準・方法 前期・後期において試験を実施し100点を満点として50点以上をもって合格とする														
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月18日～8月20日 ■冬季:12月18日～1月21日 ■学年末:3月31日		卒業・進級 条件	学年ごとに修了すべき科目について試験を行い合格者に対して当該科目の終了を認定する。但し、学年ごとの総授業時間数の90%以上を出席していなければならない。														
学修支援等	■クラス担任制:.....有 ■個別相談・指導等の対応 年間2回以上の個別面談を行い、学修状況の確認、就職指導を行っている。		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動:.....無														
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 旅行、鉄道各業界 ■就職指導内容 履歴書の書き方、面接練習、挨拶マナー指導など ■卒業生数:.....8人 ■就職希望者数:.....8人 ■就職者数:.....8人 ■就職率:.....100% ■卒業者に占める就職者の割合100% ■その他 (平成30年度卒業生に関する 2019年5月1日 水曜日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成31年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス実用検定国内全般3級</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>国内旅行業務取扱管理者試験</td> <td>②</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	アクセス実用検定国内全般3級	③	8人	8人	国内旅行業務取扱管理者試験	②	8人	7人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数															
アクセス実用検定国内全般3級	③	8人	8人															
国内旅行業務取扱管理者試験	②	8人	7人															
中途退学 の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 5.9% 平成30年4月1日時点において、在学者17名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者16名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任体制による定期的個別面談の実施、スクールカウンセラーの配置など																	
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度:.....有・無 ○ ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付:.....給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0名																	
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:.....有・無 ○ ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																	
当該学科の ホームページ URL	http://www.keisen-kankou.com/																	

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者数の割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等につ

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学教育理念に基づき、早期からの職業理解や目的意識を持たせるためのキャリア形成支援を職業実務の実践性を含めた多様な教育プログラムで実施している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

カリキュラム編成に関して、企業及び業界団体等の意見・助言を活かしたカリキュラムの改善を図り、専修学校教育に必要となる最新の知識・技術を反映するための連携体制を確立するために、教育課程編成委員会を学校長のもとに位置付ける。学校が編成したカリキュラム案を教育課程編成委員会に提案し、教育課程編成委員会は改善のための意見・助言を学校長に報告し、これを学校長が審議し、判断をすることになっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2019年6月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
上野 文一	一般社団法人 日本ソムリエ協会	2019年3月1日～2021年2月28日 口(2年)	①
佐々木 博章	(株)日本旅行	2019年3月1日～2021年2月28日 口(2年)	③
高澤 秀司	一般社団法人 日本旅行業協会	2019年3月1日～2021年2月28日 口(2年)	①
藤川 美樹	(株)TEI	2019年3月1日～2021年2月28日 口(2年)	③
香川 朗	経専北海道観光専門学校		
稲場 啓剛	経専北海道観光専門学校		
宝賀 知之	経専北海道観光専門学校		
藤崎 真希子	経専北海道観光専門学校		
岩川 香穂子	経専北海道観光専門学校		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回

(開催日時)

平成29年3月21日 14:00～15:00
平成29年10月13日 16:00～17:00
平成30年3月20日 14:00～15:30
平成30年7月11日 16:00～17:30
平成31年3月6日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員より、英語力を強化すべきとの意見があり、その対策として語学授業の時間数を増やすことができないか議論した。継続検討し、次年度以降のカリキュラムに反映させる

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学教育理念に基づき、早期からの職業理解や目的意識を持たせるためのキャリア形成支援を職業実務の実践性を含めた多様な教育プログラムで実施している。また、業界の動向やその職業に従事するにあたって必要な知識、技能、能力や態度について実感をもって理解させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

旅行会社・航空会社を目指す者にとっては、必要不可欠な日本航空予約・発券システムの基本的な知識・操作を学び、国内線・国際線の資格取得を目指す。評価については、定期試験、出席率、平常点(小テスト、提出物、授業態度)の総合で判断する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
アクセス	旅行・航空業界で航空座席やホテル等旅行商品を手配する為のコンピュータ予約システムの操作を学ぶ。	(株)アクセス国際ネットワーク

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校教育理念及び教育方針・指針に基づき、教育養成において指導力の向上を図りキャリア教育に関する必要な知識や指導方法を習得させるために「教職員研修」を実施する。

- ・産業団体や協会等が開催する講演会や研修に教員を派遣する。
- ・教育支援活動として協力いただいている企業と連携し、「必要とされる専門知識・技能の習得」等についての意見交換会を実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会の為、業界情報の収集を行う。	プレミアムホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト斡旋・就職斡旋に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウスビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場における指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会の為、業界情報の収集を行う。	プレミアムホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト斡旋・就職斡旋に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウスビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場における指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより、企業等、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委員会を設置して客観的な点検及び評価を行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は定められているか ②学校における職業教育の特色は何か ③理念・目的・育成人材像・特色などが学生・業界関係者・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③人事、給与に関する規定等は整備されているか
(3) 教育活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ②授業評価の実施・評価体制はあるか ③成績評価、進級・卒業判定基準は明確になっているか
(4) 学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③進学率の低減が図られているか

(5) 学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③保護者と適切に連携しているか
(6) 教育環境	①施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動は適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は伝えられているか ③学納金は妥当なものとなっているか
(8) 財務	①予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ②財務について会計監査が適正に行われているか
(9) 法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のために対策がとられているか
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練を含む)の受諾等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	

※(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より、教える側もこちらの常識にとらわれることなく、学生を見て、理解度をはかりながら指導していくことが必要との提案を受け、教育内容の見直し、充実を尚一層図っていくこととした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
穂積 尚哉	(株)クレオトラベル	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	企業等委員
中村 正彦	JR北海道ホテルズ(株)	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	卒業生
木田 武	セブンイレブン札幌自衛隊前店	2018年7月1日～2020年6月30日	地域住民
能代 茂	学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学 明清高等学校	2018年7月1日～2020年6月30日	学校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 6月

<http://www.keisen-kankou.com/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を提供することを目的として、企業等の学校関係者に対し、「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則った情報を積極的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	「学校所在地、連絡先等」「学校教育目標」
(2) 各学科等の教育	「入学定員」「カリキュラム」「卒業後の進路」「目指す資格」
(3) 教職員	「教員数」
(4) キャリア教育・実践的職業教育	「就職支援等への取り組み状況」
(5) 様々な教育活動・教育環境	「学校行事への取り組み状況」
(6) 学生の生活支援	「学生・生活指導への取り組み状況」
(7) 学生納付金・修学支援	「入学者選抜の方針・方法」「学生納付金の取り扱い」
(8) 学校の財務	「財務諸表等」
(9) 学校評価	「学校関係者評価の結果」
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

・入学案内 ・ホームページ <http://www.keisen-kankou.com/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 観光サービス学科 鉄道科) 2019年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実支	校内	校外	専任	兼任	
○				旅行業法	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な旅行会社運営の知識	1前	33		○			○				
○				旅行業約款	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な旅行契約の知識	1前	44		○			○				
○				国内観光地理	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な日本国内の観光地情報の知識	1前	44		○			○				
○				J R 運賃・料金	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠なJR運賃料金の知識	1前	44		○			○		○		
○				国内運賃・料金	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な航空・バス・フェリー宿泊知識	1前	33		○			○		○		
○				海外旅行実務	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な時差・OAG・海外ホテル知識	1通	44		○			○			○	
○				海外観光地理	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な海外観光地情報知識	1後 2前	44		○			○			○	
○				国家試験対策	国家試験取得に向けて授業内容の理解度を計るため実力テスト及び各科目の対策	1前 2前	66		○			○			○	
○				観光英語	様々な場面で外国人旅行者とコミュニケーションがとれるスタッフとしての英語知識及び国家試験取得に向けての知識	1通	33		○			○			○	
○				アクセス	旅行・航空業界で航空座席や旅行商品を手配するためのコンピュータ予約システムの操作	1通 2前	66		○			○			○	○
○				時刻表実務	J R 時刻表全国版の見方・使い方をの基礎・応用を学ぶ	1前	11		○			○			○	
○				国内旅行企画	国内の受注型手配旅行及び企画募集型旅行の企画・見積りの知識を学ぶ	1後 2通	154					○	○		○	
○				海外旅行企画	海外の受注型手配旅行及び企画募集型旅行の企画書・原価計算・パンフレット作成を行う	2後	66					○	○		○	
○				国内観光知識	国内観光資源の復習及び総まとめ	2後	22					○			○	
○				ビジネスマナー (知識)	社会人として知っていなければいけないビジネス知識やビジネスマナーの習得	1通	44					○	○		○	
○				筆記試験対策	就職試験に向けての一般常識・小論文対策	1後 2前	44		○			○			○	
○				パソコン	企画書・原価計算・パンフレットの作成	2後	66		○			○			○	
○				心理学	コミュニケーションの向上と接客をする上でのクレーム対応を学ぶ	2前	22		○			○			○	
○				就職対策 (就職準備) / 就職ゼミ	就職に向けての準備 (適性検査・セミナー・ペン字講習他) とルール・企業研究・動向調査等を行う	1後 2通	44		○			○			○	

○	社会人雑学	社会人として仕事する上で必要最低限の法律等を理解する	2前	11	○	○	○												
○	面接対策	就職試験の中でも一番合否を左右する面接試験の対策を行う	1後 2前	44			○	○	○										
○	クラスコミュニケーション	必要事項の連絡とクラスコミュニケーション	1通 2通	44	○		○	○											
○	鉄道業界知識	J R北海道を中心に鉄道業界全般の知識	1後	11	○		○	○											
○	駅業務知識	J R北海道の駅で販売されている切符等の販売知識	1後 2前	44	○		○	○											
○	適性対策	鉄道会社の就職試験の一つであるクレペリン適性検査等の対策	1後	11	○		○	○											
○	パブリックスピーチ	人前での話し方を身に付け駅アナウンス等を行う	1後 2前	44	○		○												
○	北海道観光知識	J R北海道への就職を目指すうえで、北海道の観光地と最寄駅、運行列車等の知識を学ぶ	2前	22	○		○												
○	手話／韓国語／中国語／英会話	・聴力障がい者に対して接客の基礎を学ぶ ・第2外国語として韓国語の簡単な読み書き／会話を学ぶ ・中国語の簡単な読み書き／会話を学ぶ ・外国人と英語でコミュニケーションが取れるスタッフの育成	2前	44	○		○												
○	手話／韓国語	・聴力障がい者に対して接客の基礎を学ぶ ・第2外国語として韓国語の簡単な読み書き・会話を学ぶ	1後	22	○		○												
○	英会話	駅員として必要な必要最低限の会話力を身に付ける	1後	22	○		○	○											
○	オリエンテーション	入学当初のモチベーションを持続させる為、学校ルールの説明に加え、観光業界で活躍する卒業生を招き、業界講話を実施する	1前 2前	66	○		○												
○	ノーマライゼーション	健常者だけに限らず障害者への対応が増えている為、障害者を正しく理解し、バリアフリー社会を理解する	1後	12	○		○												
○	普通救命講習	就職後の添乗業務などで旅先で事故などが発生した際に、応急処置をする技術を身に付ける	1後	6				○	○										
○	国内研修旅行	添乗実務の授業の総まとめとして、国内の有名観光地を実際に見ながら、添乗員の仕事を体験し、今後の仕事に活かす	1後 2前	56				○		○	○								
○	道内研修旅行	北海道に就職する学生が多いため、北海道内の観光地を旅行する事で、移動距離を実感しながら地理を学び、将来の仕事に活かす	1前 2前	64				○		○	○								
○	国家試験特別講義	国家資格である国内・総合旅行業務取扱管理者の試験の直前に集中講座として、弱点克服の為の特別講義を行い、全員合格を目指す	1前 2前	246	○					○	○								
○	クラスレクリエーション	北海道内有数のリゾートホテルでホテルライフを体験し、将来の仕事に活かすとともに、クラス内のコミュニケーションを目的とする	1前	16				○		○	○								
○	10月特別講習授業／パソコン特講	観光英語検定3級取得に向けた検定試験直前に行う検定取得対策授業とパソコンの特別授業	1後	32	○					○	○								
合計			39科目			1774単位時間(単位)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
前、後期評定「可(50点)」以上、出席率90%以上		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地															
経専北海道観光専門学校	平成21年6月21日	中田 靖泰	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-3 (電話) 011-837-0200															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地															
学校法人経専学園	昭和48年4月24日	倉田 恵	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-3 (電話) 011-824-1000															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士														
商業実務	商業実務専門課程	観光サービス学科(旅行科)	平成22年文部科学省 告示第152号	-														
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、観光業界に幅広く携わる有能な人材を育成するとともに、ホスピタリティ精神を身につけた国際人を育成することによって、観光業界の発展に寄与することを目的とする。																	
認定年月日	平成26年3月31日																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験												
2年	昼間	1752時間	1186時間	時間	566時間	時間												
	実技			時間	時間	時間												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
358人	28人	3人	2人	17人	19人													
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期・後期において試験を実施し100点を満点として50点以上をもって合格とする														
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月18日～8月20日 ■冬季:12月18日～1月21日 ■学年末:3月31日		卒業・進級 条件	学年ごとに修了すべき科目について試験を行い合格者に対して当該科目の終了を認定する。但し、学年ごとの総授業時間数の90%以上を出席していなければならない。														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 年間2回以上の個別面談を行い、学修状況の確認、就職指導を行っている。		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動: 無														
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 旅行、鉄道各業界 ■就職指導内容 履歴書の書き方、面接練習、挨拶マナー指導など ■卒業生数: 9人 ■就職希望者数: 9人 ■就職者数: 9人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100% ■その他 (平成 30 年度卒業生に関する 2019年5月1日 水曜日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成31年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス実用検定国内全般3級</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>国内旅行業務取扱管理者試験</td> <td>②</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	アクセス実用検定国内全般3級	③	9人	9人	国内旅行業務取扱管理者試験	②	9人	8人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数															
アクセス実用検定国内全般3級	③	9人	9人															
国内旅行業務取扱管理者試験	②	9人	8人															
中途退学 の現状	■中途退学者 1 名 平成30年4月1日時点において、在学者28名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者27名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任体制による定期的個別面談の実施、スクールカウンセラーの配置など		■中退率 3.6%															
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ○ ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0名																	
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ○ ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																	
当該学科の ホームページ URL	http://www.keisen-kankou.com/																	

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等につ

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校教育理念及び教育方針・指針に基づき、教育養成において指導力の向上を図りキャリア教育に関する必要な知識や指導方法を習得させるために「教職員研修」を実施する。

- ・産業団体や協会等が開催する講演会や研修に教員を派遣する。
- ・教育支援活動として協力いただいている企業と連携し、「必要とされる専門知識・技能の習得」等についての意見交換会を実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会の為、業界情報の収集を行う。	プレミアムホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト斡旋・就職斡旋に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウスビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場における指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会の為、業界情報の収集を行う。	プレミアムホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト斡旋・就職斡旋に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウスビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場における指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより、企業等、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委員会を設置して客観的な点検及び評価を行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は定められているか ②学校における職業教育の特色は何か ③理念・目的・育成人材像・特色などが学生・業界関係者・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③人事、給与に関する規定等は整備されているか
(3) 教育活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ②授業評価の実施・評価体制はあるか ③成績評価、進級・卒業判定基準は明確になっているか
(4) 学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③進学率の低減が図られているか

(5) 学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③保護者と適切に連携しているか
(6) 教育環境	①施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動は適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は伝えられているか ③学納金は妥当なものとなっているか
(8) 財務	①予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ②財務について会計監査が適正に行われているか
(9) 法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のために対策がとられているか
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練を含む)の受諾等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より、教える側もこちらの常識にとらわれることなく、学生を見て、理解度をはかりながら指導していくことが必要との提案を受け、教育内容の見直し、充実を尚一層図っていくこととした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
穂積 尚哉	(株)クレオトラベル	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	企業等委員
中村 正彦	JR北海道ホテルズ(株)	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	卒業生
木田 武	セブンイレブン札幌自衛隊前店	2018年7月1日～2020年6月30日	地域住民
能代 茂	学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学 明清高等学校	2018年7月1日～2020年6月30日	学校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()) 6月

<http://www.keisen-kankou.com/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を提供することを目的として、企業等の学校関係者に対し、「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則った情報を積極的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	「学校所在地、連絡先等」「学校教育目標」
(2) 各学科等の教育	「入学定員」「カリキュラム」「卒業後の進路」「目指す資格」
(3) 教職員	「教員数」
(4) キャリア教育・実践的職業教育	「就職支援等への取り組み状況」
(5) 様々な教育活動・教育環境	「学校行事への取り組み状況」
(6) 学生の生活支援	「学生・生活指導への取り組み状況」
(7) 学生納付金・修学支援	「入学者選抜の方針・方法」「学生納付金の取り扱い」
(8) 学校の財務	「財務諸表等」
(9) 学校評価	「学校関係者評価の結果」
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

・入学案内 ・ホームページ <http://www.keisen-kankou.com/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 観光サービス学科 旅行科) 2019年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実支	校内	校外	専任	兼任	
○				旅行業法	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な旅行会社運営の知識	1前	33		○			○				
○				旅行業約款	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な旅行契約の知識	1前	44		○			○				
○				国内観光地理	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な日本国内の観光地情報の知識	1前	44		○			○				
○				J R運賃・料金	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠なJR運賃料金の知識	1前	44		○			○		○		
○				国内運賃・料金	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な航空・バス・フェリー宿泊知識	1前	33		○			○		○		
○				海外旅行実務	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な時差・OAG・海外ホテル知識	1通	44		○			○				
○				海外観光地理	国家試験取得や実際の業務でも必要不可欠な海外観光地情報知識	1後 2前	44		○			○				
○				国家試験対策	国家試験取得に向けて授業内容の理解度を計るため実力テスト及び各科目の対策	1前 2前	66		○			○				
○				観光英語	様々な場面で外国人旅行者とコミュニケーションがとれるスタッフとしての英語知識及び国家試験取得に向けての知識	1通	33		○			○				
○				アクセス	旅行・航空業界で航空座席や旅行商品を手配する為のコンピュータ予約システムの操作	1通 2前	66		○			○			○	○
○				時刻表実務	J R時刻表全国版の見方・使い方をの基礎・応用を学ぶ	1前	11		○			○				
○				国内旅行企画	国内の受注型手配旅行及び企画募集型旅行の企画・見積りの知識を学ぶ	1後 2通	154					○	○		○	
○				海外旅行企画	海外の受注型手配旅行及び企画募集型旅行の企画書・原価計算・パンフレット作成を行う	2後	66					○	○		○	
○				国内観光知識	国内観光資源の復習及び総まとめ	2後	22					○				○
○				ビジネスマナー (知識)	社会人として知っていなければいけないビジネス知識やビジネスマナーの習得	1通	44					○	○			○
○				筆記試験対策	就職試験に向けての一般常識・小論文対策	1後 2前	44		○			○				○
○				パソコン	企画書・原価計算・パンフレットの作成	2後	66		○			○		○		
○				心理学	コミュニケーションの向上と接客をする上でのクレーム対応を学ぶ	2前	22		○			○		○		

○		就職対策（就職準備）／就職ゼミ	就職に向けての準備（適性検査・セミナー・ペン字講習他）とルール・企業研究・動向調査等を行う	1後 2通	44	○			○	○							
○		社会人雑学	社会人として仕事する上で必要最低限の法律等を理解する	2前	11	○				○	○						
○		面接対策	就職試験の中でも一番合否を左右する面接試験の対策を行う	1後 2前	44					○	○		○				
○		クラスコミュニケーション	必要事項の連絡とクラスコミュニケーション	1通 2通	44	○					○						○
○		カウンター実務（国内）	旅行専攻の学生が旅行会社のカウンター業務の知識（国内）を実践を通して学ぶ	1後 2前	44						○	○					○
○		カウンター実務（海外）	旅行専攻の学生が旅行会社のカウンター業務の知識（海外）を実践を通して学ぶ	1後 2前	44						○	○					○
○		添乗実務	旅行専攻の学生が添乗員の基礎的知識を学ぶ	1後 2前	44	○						○					○
○		手話／韓国語／中国語／英会話	・聴力障がい者に対して接客の基礎を学ぶ ・第2外国語として韓国語の簡単な読み書き／会話を学ぶ ・中国語の簡単な読み書き／会話を学ぶ ・外国人と英語でコミュニケーションが取れるスタッフの育成	2前	44	○							○				○
○		手話／韓国語	・聴力障がい者に対して接客の基礎を学ぶ ・第2外国語として韓国語の簡単な読み書き・会話を学ぶ	1後	22	○								○			○
○		英会話	海外旅行業務に必要な必要最低限の会話力を身に付ける	1後	22	○					○	○					○
○		オリエンテーション	入学当初のモチベーションを持続させる為、学校ルールの説明に加え、観光業界で活躍する卒業生を招き、業界講話を実施する	1前 2前	66	○							○				○
○		ノーマライゼーション	健常者だけに限らず障害者への対応が増えている為、障害者を正しく理解し、バリアフリー社会を理解する	1後	12	○								○			○
○		普通救命講習	就職後の添乗業務などで旅先で事故などが発生した際に、応急処置をする技術を身に付ける	1後	6									○	○		○
○		国内研修旅行	添乗実務の授業の総まとめとして、国内の有名観光地を実際に見ながら、添乗員の仕事を体験し、今後の仕事に活かす	1後 2前	56									○			○
○		道内研修旅行	北海道に就職する学生が多いため、北海道内の観光地を旅行する事で、移動距離を実感しながら地理を学び、将来の仕事に活かす	1前 2前	64									○			○
○		国家試験特別講義	国家資格である国内・総合旅行業務取扱管理者の試験の直前に集中講座として、弱点克服の為の特別講義を行い、全員合格を目指す	1前 2前	246	○											○
○		クラスレクリエーション	北海道内有数のリゾートホテルでホテルライフを体験し、将来の仕事に活かすとともに、クラス内のコミュニケーションを目的とする	1前	16										○		○
○		10月特別講習授業／パソコン特講	観光英語検定3級取得に向けた検定試験直前に行う検定取得対策授業とパソコンの特別授業	1後	32	○											○
合計			36科目	1741単位時間(単位)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
前、後期評定「可（50点）」以上、出席率90%以上		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																
経専北海道観光専門学校	平成21年6月21日	中田 靖泰	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-3 (電話) 011-837-0200																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																
学校法人経専学園	昭和48年4月24日	倉田 恵	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-3 (電話) 011-824-1000																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士															
商業実務	商業実務専門課程	観光サービス学科(ウェディング科)	平成22年文部科学省 告示第152号	-															
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、観光業界に幅広く携わる有能な人材を育成するとともに、ホスピタリティ精神を身につけた国際人を育成することによって、観光業界の発展に寄与することを目的とする。																		
認定年月日	平成26年3月31日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
2年	昼間	1758時間	1066時間	時間	692時間	時間	時間												
	夜間																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数														
329人	16人	0人	2人	23人	26人														
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期・後期において試験を実施し100点を満点として50点以上をもって合格とする															
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 7月18日～8月20日 ■冬季: 12月18日～1月21日 ■学年末: 3月31日		卒業・進級 条件	学年ごとに修了すべき科目について試験を行い合格者に対して当該科目の終了を認定する。但し、学年ごとの総授業時間数の90%以上を出席していなければならない。															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 年間2回以上の個別面談を行い、学修状況の確認、就職指導を行っている。		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動: 無															
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) ホテル、ブライダル業界 ■就職指導内容 履歴書の書き方、面接練習、挨拶マナー指導など ■卒業生数: 11人 ■就職希望者数: 11人 ■就職者数: 11人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100% ■その他 (平成30年度卒業生に関する 2019年5月1日 水曜日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成31年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストランサービス 技能検定3級</td> <td>②</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>ABCブライダルプラン ナー検定2級</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	レストランサービス 技能検定3級	②	10人	10人	ABCブライダルプラン ナー検定2級	③	10人	9人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																
レストランサービス 技能検定3級	②	10人	10人																
ABCブライダルプラン ナー検定2級	③	10人	9人																
中途退学 の現状	■中途退学者 0名 平成30年4月1日時点において、在学者16名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者16名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任体制による定期的個別面談の実施、スクールカウンセラーの配置など		■中退率 0%																
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ○ ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																		
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ○ ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																		
当該学科の ホームページ URL	http://www.keisen-kankou.com/																		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等につ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校教育理念及び教育方針・指針に基づき、教育養成において指導力の向上を図りキャリア教育に関する必要な知識や指導方法を習得させるために「教職員研修」を実施する。

- ・産業団体や協会等が開催する講演会や研修に教員を派遣する。
- ・教育支援活動として協力いただいている企業と連携し、「必要とされる専門知識・技能の習得」等についての意見交換会を実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会の為、業界情報の収集を行う。	プレミアホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト斡旋・就職斡旋に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウズビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場においての指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会の為、業界情報の収集を行う。	プレミアホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト斡旋・就職斡旋に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウズビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場においての指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本学は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより、企業等、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委員会を設置して客観的な点検及び評価を行う。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は定められているか ②学校における職業教育の特色は何か ③理念・目的・育成人材像・特色などが学生・業界関係者・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③人事、給与に関する規定等は整備されているか
(3)教育活動	①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ②授業評価の実施・評価体制はあるか ③成績評価、進級・卒業判定基準は明確になっているか
(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③進学率の低減が図られているか

(5) 学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか ②学生相談に関する体制は整備されているか ③保護者と適切に連携しているか
(6) 教育環境	①施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	①学生募集活動は適正に行われているか ②学生募集活動において、教育成果は伝えられているか ③学納金は妥当なものとなっているか
(8) 財務	①予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ②財務について会計監査が適正に行われているか
(9) 法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のために対策がとられているか
(10) 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練を含む)の受諾等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	

※(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より、教える側もこちらの常識にとらわれることなく、学生を見て、理解度をはかりながら指導していくことが必要との提案を受け、教育内容の見直し、充実を尚一層図っていくこととした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
穂積 尚哉	(株)クレオトラベル	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	企業等委員
中村 正彦	JR北海道ホテルズ(株)	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	卒業生
木田 武	セブンイレブン札幌自衛隊前店	2018年7月1日～2020年6月30日	地域住民
能代 茂	学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学 明清高等学校	2018年7月1日～2020年6月30日	学校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 6月

<http://www.keisen-kankou.com/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を提供することを目的として、企業等の学校関係者に対し、「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則った情報を積極的に提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	「学校所在地、連絡先等」「学校教育目標」
(2) 各学科等の教育	「入学定員」「カリキュラム」「卒業後の進路」「目指す資格」
(3) 教職員	「教員数」
(4) キャリア教育・実践的職業教育	「就職支援等への取り組み状況」
(5) 様々な教育活動・教育環境	「学校行事への取り組み状況」
(6) 学生の生活支援	「学生・生活指導への取り組み状況」
(7) 学生納付金・修学支援	「入学者選抜の方針・方法」「学生納付金の取り扱い」
(8) 学校の財務	「財務諸表等」
(9) 学校評価	「学校関係者評価の結果」
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

・入学案内 ・ホームページ <http://www.keisen-kankou.com/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 観光サービス学科 ウェディング科) 2019年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			マナー・プロトコール検定	マナー・プロトコール検定3級の資格取得を目的とする	1前	44		○			○			○	
○			接客マナー実務	接客業に従事する者として必要な立ち振る舞いや言葉使い、接客マナーを身に付ける	2前	11				○	○				○
○			SPI-3	就職試験で行われる筆記試験対策授業	1後	22		○			○				○
○			手話	来館する聴力障がい者に対して接客の出来るスタッフ育成を目的とする	2後	22		○			○				○
○			パソコン	パソコンを使った文書作成・表計算練習。検定取得を目指す。	2通	44				○	○				○
○			料飲概論	ホテルブライダル業界唯一の国家資格であるレストランサービス技能検定3級合格に必要な知識を取得	1通 2前	66		○			○			○	
○			料飲実務	料飲部門のスタッフとしての基本知識・技術を習得し、日常接客業務を行えるようにトレーニング	1通 2前	66				○	○			○	
○			コミュニケーション心理学	企業側が採用する人材として、最も重要視されるコミュニケーション能力を身につける	2後	22		○			○				○
○			英語	様々な場面で外国人とコミュニケーションが図れるスタッフの育成	1通	44		○			○				○
○			パーソナルカラー検定	色の持つ性質や効果に関する知識を学び、人の印象に関わる色としての効果を実践的に活用する為、パーソナルカラー検定3級資格取得を目標とする	1通	44		○			○				○
○			ブライダルプランナー検定対策	日本のみではなく欧米のブライダル知識も学び、ブライダルプランナー検定2級の資格取得を目指す	1通 2前	66		○			○			○	
○			ブライダル概論	ブライダルの業態・歴史・挙式スタイル・披露宴スタイル・プランナー業務等を理解し、アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定資格取得を目指す	1通 2前	55		○			○			○	
○			ドレスフィッティング	衣裳の試着、お色直しなど様々なシチュエーションを想定し、フィッティングの実技を行う	1前	22				○	○				○
○			和装実習	日本の伝統衣裳である和装の基礎知識を習得し、着付けや立ち振る舞いのアドバイス、アテンドテクニックを身につける	1通	44		○		○	○				○
○			ヘアメイク実習	基本的な基礎化粧に関する知識を学び、より美しく見せるためのスキルとテクニックを身につけ、就活にも活かす	1通	44				○	○				○
○			ブライダルヘアメイク実習	衣裳や会場コーディネートに合わせたメイクやヘアアレンジの基礎知識及び技術を身に付ける	2通	44				○	○				○
○			ネイル実習	花嫁にとって大切なコーディネートアイテムの一つであるネイルアートの基礎知識とトータルコーディネート術を身につける	2通	44				○	○				○
○			フラワーアレンジメント	ブライダルのあらゆるシーンで関わるフラワーアレンジメントを制作するための基本的な知識と技術を学ぶ	2前	22				○	○				○
○			ブライダルゼミ	ブライダル業界の現状や課題を考察し、実際のブライダル企業を研究する	2後	22		○			○				○
○			総合演習	実際に本物の挙式を創り上げることにより業界への関心を深めモチベーションをあげるとともにチームワークの必要性を学ぶ	2通	88				○	○			○	
○			ブライダルサービス実習	披露宴サービスを実践的にトレーニング	2通	44				○	○				○
○			ウェディングプランナー実務	人生の一大イベントであるブライダルには多くの商品があり商品知識及び受注までのプランニング及び接客スキルを学ぶ	1後 2通	66		○		○	○			○	
○			ドレスコーディネーター実務	婚礼衣装に関する知識を習得し接客営業トータルコーディネート、挙式当日までの一連の業務を学ぶ	1後 2通	66		○		○	○			○	

○	業界ゼミ	現役ブライダル業界人をキャリアモデルとして捉えると同時に、ブライダルの現場の新鮮な情報を得て業界への関心を拡大する	1前	11	○		○		○				
○	H/R	必要事項の連絡とクラスコミュニケーション	1通 2通	44	○		○		○				
○	就職対策・就職ゼミ	就職内定獲得を目標に、履歴書、志望動機、自己PR、採用試験、面接等のスキルアップ	1通 2前	55	○		○		○				
○	面接対策	就職内定獲得に向けた面接のポイントを学ぶ	1後 2前	44	○		○		○				
○	オリエンテーション	入学当初及び進級後のモチベーションを持続させる為、学校ルールの説明に加え、講話を実施する。	1前 2前	32	○		○	○	○				
○	Firstステイ研修	実際にお客様としてホテルを利用し、ブライダルとホテルの繋がりや重要性を学び、学生生活に必要な心構えや、将来社会人として必要な最低限のマナーを身に付ける	1前	16	○	○	○		○	○			
○	Bridalツアー	札幌市内のブライダル施設を実際に見学し、スタッフの話聞く事で今後の授業に役立て生かしていく	1前	8	○		○		○	○			
○	Resort研修	北海道のリゾートホテルに宿泊し、リゾートの接客技術を理解する	1前 2前	32	○	○	○		○	○			
○	Tokyoディスカバリー研修	首都圏のブライダル部門に注力しているホテルや人気と高い、衣裳店・ゲストハウス系施設を見学することで首都圏での最新トレンドを知る	1後	32	○		○		○	○			
○	カクテルコンペティション	ホテル科2年生の創作カクテル競技会の決勝大会を見学し、イベント演出の授業の一環とする	1前 2前	12	○		○		○	○			
○	ブライダルJack研修	1年生は2年生が施行する婚礼にゲストとして参加。2年生はリアルウェディングを創り上げる事により、業界への関心と学習内容の理解を深める。	1後 2後	18			○	○		○	○		
○	ABC検定対策	ブライダルプランナー検定試験合格に向けた検定直前対策授業	2後	10	○				○		○		
○	企業実習	1年間学んだ事の総復習として、実際にブライダルで実習し、ブライダル業の魅力や仕事の厳しさを知り、就職活動の第一歩とする	1後	360					○	○		○	○
○	HRS夏季集中講座	ブライダル業界唯一の国家資格である、レストラン・サービス技能検定3級資格取得を目的とする検定直前対策授業	2前	24	○				○		○		
○	2年Ⅲ期集中講座	業界にかかわる様々な知識やトレンドに触れ、体験することで業界の魅力を学び、業界就職時に活用できる実践的な科目	2後	40	○		○	○		○			
合計			38科目		1750単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
前、後期評定「可(50点)」以上、出席率90%以上		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
経専北海道観光専門学校	平成21年6月21日	中田 靖泰	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-3 (電話) 011-837-0200																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人経専学園	昭和48年4月24日	倉田 恵	〒005-0003 札幌市南区澄川3条6丁目4-3 (電話) 011-824-1000																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
商業実務	商業実務専門課程	観光サービス学科(ホテル科 ホテル専攻)	平成22年文部科学省 告示第152号	-																		
学科の目的	本校は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、観光業界に幅広く携わる有能な人材を育成するとともに、ホスピタリティ精神を身につけた国際人を育成することによって、観光業界の発展に寄与することを目的とする。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2年	昼間	1744時間	1068時間	時間	676時間	時間																
	夜間																					
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
329人	58人	1人	2人	25人	28人																	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前期・後期において試験を実施し100点を満点として50点以上をもって合格とする																		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月18日～8月20日 ■冬季:12月18日～1月21日 ■学年末:3月31日		卒業・進級 条件	学年ごとに修了すべき科目について試験を行い合格者に対して当該科目の終了を認定する。但し、学年ごとの総授業時間数の90%以上を出席していなければならない。																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 年間2回以上の個別面談を行い、学修状況の確認、就職指導を行っている。		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動: 無																		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) ホテル業界 ■就職指導内容 履歴書の書き方、面接練習、挨拶マナー指導など ■卒業生数: 33 人 ■就職希望者数: 33 人 ■就職者数: 33 人 ■就職率: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 100 % ■その他 (平成 30 年度卒業生に関する 2019年5月1日 水曜日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成31年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストランサービス技能検定3級</td> <td>②</td> <td>33人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	レストランサービス技能検定3級	②	33人	26人								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
レストランサービス技能検定3級	②	33人	26人																			
中途退学 の現状	■中途退学者 3名 平成30年4月1日時点において、在学者58名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者55名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任体制による定期的個別面談の実施、スクールカウンセラーの配置など		■中退率 5.2 %																			
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ○ ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0名																					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ○ ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科の ホームページ URL	http://www.keisen-kankou.com/																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等につ

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 本学教育理念に基づき、早期からの職業理解や目的意識を持たせるためのキャリア形成支援を職業実務の実践性を含めた多様な教育プログラムで実施している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 カリキュラム編成に関して、企業及び業界団体等の意見・助言を活かしたカリキュラムの改善を図り、専修学校教育に必要となる最新の知識・技術を反映するための連携体制を確立するために、教育課程編成委員会を学校長のもとに位置付ける。学校が編成したカリキュラム案を教育課程編成委員会に提案し、教育課程編成委員会は改善のための意見・助言を学校長に報告し、これを学校長が審議し、判断をすることになっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2019年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
上野 文一	一般社団法人 日本ソムリエ協会	2019年3月1日～2021年2月28日(2年)	①
佐々木 博章	(株)日本旅行	2019年3月1日～2021年2月28日(2年)	③
高澤 秀司	一般社団法人 日本旅行業協会	2019年3月1日～2021年2月28日(2年)	①
藤川 美樹	(株)TEI	2019年3月1日～2021年2月28日(2年)	③
香川 朗	経専北海道観光専門学校		
稲場 啓剛	経専北海道観光専門学校		
宝賀 知之	経専北海道観光専門学校		
藤崎 真希子	経専北海道観光専門学校		
岩川 香穂子	経専北海道観光専門学校		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回

(開催日時)

平成29年3月21日 14:00～15:00
 平成29年10月13日 16:00～17:00
 平成30年3月20日 14:00～15:30
 平成30年7月11日 16:00～17:30
 平成31年3月6日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員より、英語力を強化すべきとの意見があり、その対策として語学授業の時間数を増やすことができないか議論した。継続検討し、次年度以降のカリキュラムに反映させる

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学教育理念に基づき、早期からの職業理解や目的意識を持たせるためのキャリア形成支援を職業実務の実践性を含めた多様な教育プログラムで実施している。また、業界の動向やその職業に従事するにあたって必要な知識、技能、能力や態度について実感をもって理解させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

各ホテル・ブライダル企業に出向き、各地域、各分野の企業の目的・仕事内容について学びながら、総合的な仕事ができる為の基礎能力を養うことを目的とする。宿泊業務、飲料業務、宴会業務、客室業務の他に社会人マナーなどを就職する前に習得・体験させる。評価については、「評価票」に挨拶、積極性、仕事の質、身だしなみ、言葉使いなどについての評価項目あらかじめ設定し、5段階で判断していただく。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
企業実習	1年間学んだ事の総復習として、実際にホテル企業で実習し、ホテルの魅力や仕事の厳しさを知り、就職活動の第一歩とする。	センチュリーロイヤルホテル、パークハイアット東京、ホテルオークラ東京、はいむるびし、オーセントホテル小樽他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校教育理念及び教育方針・指針に基づき、教育養成において指導力の向上を図りキャリア教育に関する必要な知識や指導方法を習得させるために「教職員研修」を実施する。
 ・産業団体や協会等が開催する講演会や研修に教員を派遣する。
 ・教育支援活動として協力いただいている企業と連携し、「必要とされる専門知識・技能の習得」等についての意見交換会を実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会のため、業界情報の収集を行う。	プレミアムホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト・就職・就職に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウスビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場における指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
JALアカデミー研修	教員	就職試験を控えているエアライン科2年生を対象に東京にて、面接対策セミナーに同行し、オブザーバーとして5時間程度のセミナーを聴講する。セミナーを通して、面接マナー、面接質問に対する受け答え内容の指導方法並びに学生のレベルの把握に役立てる。	日本航空	2019.2.4
ホテルジャック	教員	実際のホテルの一部を借りての運営を通し、各部門における運営方法・ポリシーを学ぶ。また、卒業生も多く集まる機会のため、業界情報の収集を行う。	プレミアムホテル	2018.10.18
ブライダルツアー	教員	現在のブライダル業界におけるブライダル運営方法・最新事情を理解し、学生に与える授業内容の更新に役立てる。また、市内のブライダル事情の情報を集め、アルバイト・就職・就職に対し、業界の求める人物を育てることに役立てる。	ブライダルハウスビビ	2018.4.13
添乗研修	教員	添乗実務を行う研修旅行において、現役添乗員と一緒に同行し現場における指導方法並びに今後の指導に役立てることを目的とする。	(株)TEI	2018.5.28

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名	対象	概要	主催企業	実施時期
教員研修	教員	専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図る為、教育関連に即した講師から講義を受講することにより、授業方法、学生指導に役立たせる。	北海道専修学校各種学校連合会	2018.7.24

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学は、常に教育水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するために授業をはじめとする教育活動や教育環境、学校運営の状況について、自己点検・評価はもとより、企業等、学校関係者等が評価に参画する学校関係者評価委員会を設置して客観的な点検及び評価を行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	① 理念・目的・育成人材像は定められているか ② 学校における職業教育の特色は何か ③ 理念・目的・育成人材像・特色などが学生・業界関係者・保護者等に周知されているか
(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③ 人事、給与に関する規定等は整備されているか
(3) 教育活動	① 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ② 授業評価の実施・評価体制はあるか ③ 成績評価、進級・卒業判定基準は明確になっているか
(4) 学修成果	① 就職率の向上が図られているか ② 資格取得率の向上が図られているか ③ 進学率の低減が図られているか
(5) 学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか ② 学生相談に関する体制は整備されているか ③ 保護者と適切に連携しているか
(6) 教育環境	① 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ② 防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	① 学生募集活動は適正に行われているか ② 学生募集活動において、教育成果は伝えられているか ③ 学納金は妥当なものとなっているか

(8)財務	①予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ②財務について会計監査が適正に行われているか
(9)法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか ②個人情報に関し、その保護のために対策がとられているか
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練を含む)の受諾等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	

※(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より、教える側もこちらの常識にとらわれることなく、学生を見て、理解度をはかりながら指導していくことが必要との提案を受け、教育内容の見直し、充実を尚一層図っていくこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
穂積 尚哉	(株)クレオトラベル	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	企業等委員
中村 正彦	JR北海道ホテルズ(株)	2019年5月1日～2021年4月30日(2年)	卒業生
木田 武	セブンイレブン札幌自衛隊前店	2018年7月1日～2020年6月30日	地域住民
能代 茂	学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学 明清高等学校	2018年7月1日～2020年6月30日	学校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 6月

<http://www.keisen-kankou.com/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を提供することを目的として、企業等の学校関係者に対し、「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則った情報を積極的に提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	「学校所在地、連絡先等」「学校教育目標」
(2)各学科等の教育	「入学定員」「カリキュラム」「卒業後の進路」「目指す資格」
(3)教職員	「教員数」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	「就職支援等への取り組み状況」
(5)様々な教育活動・教育環境	「学校行事への取り組み状況」
(6)学生の生活支援	「学生・生活指導への取り組み状況」
(7)学生納付金・修学支援	「入学者選抜の方針・方法」「学生納付金の取り扱い」
(8)学校の財務	「財務諸表等」
(9)学校評価	「学校関係者評価の結果」
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

・入学案内 ・ホームページ <http://www.keisen-kankou.com/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 観光サービス学科 ホテル科) 2019年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任		
○			宿泊概論	ホテルの宿泊部における基本事項の理解を深め、宿泊部門の仕事を把握	1前	22		○			○			○		
○			宿泊基礎実務	ホテルスタッフとして身に付けるべき接遇、マナー、ホスピタリティに関する実技を習得する	1通	44				○	○				○	
○			ホテルシステム	ホテルシステムの中でも世界的に普及しているオペラシステムの操作を把握し、現場での対応性を強化する	1通 2通	88				○	○					○
○			料飲概論	ホテル業界唯一の国家資格であるレストランサービス技能検定3級合格に必要な知識を取得	1通 2前	66		○			○			○		
○			料飲基礎実務	料飲部門のスタッフとしての基本知識・技術を習得し、日常接客業務を行えるようにレーニング	1通 2前	66					○	○			○	
○			総合飲料知識	料飲サービスの基本となる飲料の特性を理解する	1後 2前	44					○	○				○
○			和食検定	日本古来の和食の文化、習慣、サービスを学ぶ	2通	44		○				○				○
○			ホテルビジネス	ホテルの収入の大半を占める部門（総合施設）における知識を身に付ける為に必要なH検対策授業。（ホテルの歴史・レストラン・宴会・調理）	1通	44		○				○				○
○			AG-English	英語によるコミュニケーション能力のレベルアップを図り英検上位級テストを受験する	1通 2通	264		○				○				○
	○		バンケットサービス	ホテル宴会業務のサービス並びに会場設営を実務で学ぶ	1後 2前	44						○	○			○
	○		レストランマネジメント&食材研究	マネジメントを行なう上で数字・売上管理を理解する事レストランに必要な食材の知識を座学・実習を通して学ぶ	2前	22		○				○				○
	○		ソムリエ実務	世界のワインの基礎であるフランスワインを研究する	2後	22						○	○			○
	○		ホテルランクアップ	料飲基礎実務と宿泊基礎実務の応用授業。高度技術を習得	2後	22						○	○			○
	○		フレアバーテンディング	現代のバーサービスにおいてカクテルをコミュニケーションツールとしエンターテイメント技術を身につける	1後 2前	44						○	○			○
	○		エンターテイメント	リゾート・テーマパークホテルの接客に必要なエンターテイメント性を理解すると共にクリエイターとして人を楽しませる技術身につける	2通	44		○					○			○
	○		リゾート研究	リゾートに欠かせないアミューズメントを研究し、施設集客率の上げ方・運営方法などを学び、リゾートスタッフとしての即戦力をつける	2後	22							○	○		○
○			パソコン	業界必須のマイクロオフィスのソフトを理解し、検定合格を目標とする	2通	44						○	○			○
○			SP1-3	就職試験で行われる筆記試験対策授業	1後	22		○					○			○

○	マナー・プロトコール	社会人として知っていなければいけないビジネス知識やマナーの習得	1前	44	○	○	○													
○	ノーマライゼーション	身体障がいのあるお客様に対しての基本的な対応(接客姿勢)を学ぶ	1前	22	○		○													
○	手話	聴力障がいのあるお客様に対しての基本的な対応(接客姿勢)を学ぶ	2通	22	○		○													
○	面接対策	就職内定獲得に向けた面接のポイントを学ぶ	1後 2前	44	○		○													
○	就職対策ゼミ	就職内定獲得を目標に、履歴書、志望動機、自己PR、採用試験、面接等のスキルアップを図る	1後 2前	33	○		○													
○	コミュニケーション心理学	企業側が採用する人材として、最も重要視されるコミュニケーション能力を身につける	2後	22	○		○													
○	業界ゼミ	現従業員人をキャリアモデルとして捉えると同時に、ホテルの現場の新鮮な情報を得て業界への関心を拡大する	1前	11	○		○													
○	総合演習	1年半学習したことを活かし、最後のイベントとなるホテルジャックについてプランニングする	2後	66	○		○	○												
○	HR	必要事項の連絡とクラスコミュニケーション	1通 2通	44	○		○													
○	オリエンテーション	入学当初及び進級後のモチベーションを持続させる為、学校ルールの説明に加え、講話を実施する。	1通 2通	40	○		○	○												
○	Firstステイ研修	実際にお客様としてホテルを利用して、ホテルの機能やホテルスタッフの接客態度を学び、学生生活に必要な心構えや、将来ホテルマンに必要な最低限の心構えやテーブルマナーを身に付ける	1前	16	○	○	○													
○	プレホテルJack研修	宴会のホテルサービスが行われる様子を体験し、学習内容の理解を深めると共に、学習の到達目標を意識付ける。	1後	8	○		○													
○	Tokyoディスカバリー研修	東京の国際的なシティホテルに宿泊し、北海道では見られない大規模ホテルのサービスや国際性を体験することで、ホテル業界についてより深い知識と理解を得る	1後	32	○		○													
○	Cocktailコンペティション	創作カクテル競技会の決勝大会として実施する。審査員には業界のプロを招聘し、業界との連携をとる	1前 2前	18	○	○	○													
○	Resort研修	北海道のリゾートホテルに宿泊し、リゾートの接客技術を理解する	1前 2前	32			○													
○	ホテルJack研修	ホテル業務についての学習の集大成として、実際のホテルで各業務を担当し、就職に向けての意識を向上させる	2後	16			○	○												
○	企業実習	1年間学んだ事の総復習として、実際にホテルで実習し、ホテル業の魅力や仕事の厳しさを知り、就職活動の第一歩とする	1後	360				○												○
○	HRS夏季集中講座	国家資格である、レストラン・サービス技能検定3級資格取得を目的とする検定直前対策授業	2前	24	○			○												
○	3期集中講座	業界にかかわる様々な知識やトレンドに触れ、体験することで業界の魅力や仕事を学び、業界就職時に活用できる実践的な科目	2後	40	○		○	○												
合計			37科目		1862時間(単位)															

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
前、後期評定「可(50点)」以上、出席率90%以上		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。